

農政部との話し合いに向け意思統一



現業協議会は、12月10日に上田ろうきん会議室にて第7回委員会・第7回常任幹事会を開催しました。森泉議長のあいさつの後、（1）農政部との話し合いについて（課題整理）（2）春期支部別学習会について（3）70年記念事業について（4）その他について討議しました。

（1）について、12月15日におこなわれる農政部との話し合いで現業協議会としての意見をまとめました。正規職員を新たな雇用に振り替えていけば、事業の継続は非常に困難であり、一定数の正規職員が絶対に必要であること。全国的に見ても農林技師の採用は行われており、総務省も認めざるを得ないことを主張することを確認しました。

（2）については例年通り、2月に1回ないし2回行うことを決定しました。現業協議会の活動について多くの組合員に知ってもらうため、現業組合員以外の参加も認めることにしました。

（3）については来年7月の70周年にむけて記念誌の準備を進めることを決定し、役員全員で取り組むこととしました。次回の委員会は本部書記局で行い、資料の準備をすることとしました。

（4）について 建設部との話し合いがなかなか実現しない現状において、県職労執行部へ「申入れ」を行い、早期に話し合いの場を設けてもらうことを全員一致で決定しました。